

## 『三菱 A 型』2019 日本自動車殿堂 歴史遺産車に選定

---

三菱自動車工業株式会社(本社：東京都港区、代表執行役 CEO：加藤 隆雄、以下三菱自動車)のクルマづくりの起源である『三菱 A 型』が、日本の自動車の歴史に優れた足跡を残した名車として、日本自動車殿堂\* (特定非営利活動法人：藤本 隆宏会長) の「歴史遺産車」に選定されました。

『三菱 A 型』は、1917 年夏に試作が開始され 1918 年 11 月に完成、1921 年までに計 22 台が生産されました。まとまった数量を見込みで生産・販売された『三菱 A 型』は日本初の量産乗用車といえ、日本自動車工業史上意義深いクルマとして評価されています。

当時は自動車製造の専用工具、工作機が未整備の状態でしたが、ハンマーや鑿(たがね)を使用した手作りにより、第一号車が完成。ボディは木製で黒うるし塗りが施され、室内には高級な英国製の毛織物が使用されました。図面もなければ、ガソリン機関や車体・室内の知識も生産経験もない技術者達が幾多の困難を打破して、国産でも可能なことを実証しました。



『三菱 A 型』

当時の三菱造船株式会社(現・三菱重工業株式会社)神戸造船所にて設計されました。なお、三菱自動車工業株式会社は三菱重工業株式会社より 1970 年に分離独立しました。



『三菱 A 型レプリカ』

現在「三菱オートギャラリー」（愛知県岡崎市）には当時の資料を参考にして 1972 年に復元された『三菱 A 型レプリカ』が展示されています。

<三菱オートギャラリーサイトはこちら>

<https://www.mitsubishi-motors.com/jp/company/facilities/autogallery>

\*日本自動車殿堂：日本における自動車産業・学術・文化などの発展に寄与し、豊かな自動車社会の構築に貢献した人々の偉業をたたえ、殿堂入りとして顕彰し、永く後世に伝承してゆくことを主な活動とする  
特定非営利活動（NPO）法人

以 上